

## 『福澤諭吉のアキレス腱』

1. 長州再征に関する建白書 {(慶応2年[1866年]幕府の長州再征に際して木村摂津守を通し幕府に提出した建白書＝福澤諭吉全集第20巻)}
2. 福澤諭吉の従軍慰安婦発言 {(福翁百話48) 及び (時事新報・明治29年1月18日社説「人民の移住と娼婦の出稼ぎ」＝福澤諭吉全集第15巻)}
3. 朝鮮独立党による「甲申政変」への福澤の関与 (福澤の門下生である石河幹明が彼の著書『福澤諭吉伝』で福澤の関与を認めている)
4. 慶応義塾の塾章「ペンは剣よりも強し」と福澤の軍備拡張論
5. 『学問のすゝめ』第7編での発言と『丁丑公論』諸言での発言の矛盾 (抵抗の精神についての考え方＝「武力による抵抗」の否定と肯定)
6. 社会に対する福澤の一夫一婦制の主張と家庭内での実態の矛盾 (福澤桃介と福澤房&川上貞奴の一夫二婦の関係・福澤の息子と愛人との関係)
7. 『福翁自伝』で福澤が語らなかった事と語ったが「語り」に誤りがあった事 (1864年～66年の幕臣時代、明治14年の政変、甲申政変)
8. 福澤諭吉とキリスト教 (信者ではなかったがキリスト教を利用した)
9. 福澤諭吉の『瘠我慢の説』(勝海舟の江戸城無血開城に対する批判)
10. 福澤諭吉の『脱亜論』と「アジア蔑視」発言 (『全集』第10巻)